

(別記)

岩手県福祉サービス第三者評価の結果

1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第 2 号
所在地	盛岡市三本柳 8 - 1 - 3	評価実施期間	平成 18 年 6 月 8 日 ~ 19 年 2 月 19 日

2 事業者情報

事業者名称：みたけ学園 (施設名)	種別：知的障害児施設
代表者氏名：理事長 小笠原佑一 (管理者) 園長 小笠原三枝子	開設年月日 昭和 3 4 年 3 月 1 0 日
設置主体：(福)岩手県社会福祉事業団 経営主体：(福)岩手県社会福祉事業団	定員 (利用人員) 4 0 名
所在地：岩手郡滝沢村滝沢字穴口 2 0 3 - 4 TEL 0 1 9 - 6 4 1 - 0 2 0 5 FAX 0 1 9 - 6 4 1 - 7 4 6 0	

3 総評

<p>特に評価の高い点</p> <p>経営環境の変化に対応するために管理者のリーダーシップを発揮し、将来構想を検討する仕組みを作っています。</p> <p>コストの把握を丹念に行い、経営状況の把握に努め、改善策を実行し、成果があります。</p> <p>安全管理の体制が整備され、リスクマネジメントの取組も丁寧です。</p> <p>地域との交流を図るよう行事を工夫しているほか、障害児のニーズ調査を実施して、事業計画に反映するなど、地域との関係を重視しています。</p> <p>利用者を尊重する姿勢が運営計画(寮)に基づき実施されています。</p> <p>サービスの向上に向けた取組みが自己評価、第三者評価等により定期的組織的に行われています。改善委員会が明確になった課題について改善計画を立てて実施し職員は各会議に出席して課題が共有され業務の実施に反映されています。</p> <p>保護者会を重視し総会や親子会を開催、保護者と良い関係を築き、情報交換を適切に行っています。</p>
<p>改善が求められる点</p> <p>法人が定める倫理綱領を理念とし、中長期経営計画が策定されていますが、これに基づく施設固有の中期的な計画の策定までは十分ではありません。</p> <p>倫理綱領や事業計画は、定期的な会議を通じて職員に周知されていますが、子どもや保護者等への理解を促す取組が不十分です。</p> <p>人材の確保養成は、基本方針が不十分なほか、職員一人ひとりの研修教育に関する計画が策定されていません。</p>

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

みたけ学園は、「利用者の人間としての尊厳を尊重し、利用者本位の生活支援、プライバシーの尊重、生活の質・快適性の向上、ノーマライゼーション理念の実践を利用者援助の基本とすること」を職員倫理綱領に掲げ、改善活動に取り組んで参りました。平成12年からは、第三者による法人独自のサービス評価事業や改善活動に取り組んで参りました。

今回の受審結果では、安全管理体制の整備、リスクマネジメントの取組、サービスの向上に向けた自己評価、第三者評価、保護者会との連携などについて高い評価を頂きました。

一方、今後改善が必要な点として、具体的な中長期的な視点での「みたけ学園」の方向性の策定についての指摘を受けました。

障害者自立支援法が施行されましたが、障害児施設については、流動的な環境にあることから、特別支援教育を含めて諸情報を把握しながら、中長期的な計画を策定するとともに常に改善を続け、「みたけ学園」を利用する方々の福祉の向上に努めて参ります。

5 各評価項目にかかる第三者評価結果

(別紙)

福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

		第三者評価結果
- 1 - (1) 理念、基本方針が確立されている。		
	- 1 -(1)- 理念が明文化されている。	a
	- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
- 1 - (2) 理念や基本方針が周知されている。		
	- 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
	- 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b

- 2 計画の策定

		第三者評価結果
- 2 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
	- 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。	a
	- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
- 2 - (2) 計画が適切に策定されている。		
	- 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。	a
	- 2 -(2)- 計画が職員や利用者に周知されている。	b

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
- 3 - (1) 管理者の責任が明確化されている。		
	- 3 -(1)- 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
	- 3 -(1)- 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組みを行っている。	a
- 3 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	- 3 -(2)- 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
	- 3 -(2)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a

組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

	第三者評価結果
- 1 - (1) 経営環境の変化等に対応している。	
- 1 -(1)- 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
- 1 -(1)- 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
- 1 -(1)- 外部監査が実施されている。	

- 2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
- 2 - (1) 人事管理の体制が整備されている。	
- 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b
- 2 -(1)- 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	c
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
- 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b
- 2 -(2)- 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
- 2 - (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
- 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
- 2 -(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	c
- 2 -(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	c
- 2 - (4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	
- 2 -(4)- 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
- 2 -(4)- 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a

- 3 安全管理

	第三者評価結果
- 3 - (1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	
- 3 -(1)- 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
- 3 -(1)- 利用者の安全確保のためのリスクを把握し対策を実行している。	a

- 4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
- 4 - (1) 地域との関係が適切に確保されている。		
	- 4 -(1)- 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a
	- 4 -(1)- 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
	- 4 -(1)- ボランティアを受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
- 4 - (2) 関係機関との連携が確保されている。		
	- 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。	b
	- 4 -(2)- 関係機関等との連携が適切に行われている。	a
- 4 - (3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
	- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握している。	a
	- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
- 1 - (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
	- 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
	- 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
- 1 - (2) 利用者満足の向上に努めている。		
	- 1 -(2)- 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	b
	- 1 -(2)- 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	b
- 1 - (3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	- 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b
	- 1 -(3)- 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b
	- 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b

- 2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
- 2 - (1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
	- 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
	- 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
	- 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b
- 2 - (2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
	- 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
	- 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
- 2 - (3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
	- 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	b
	- 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b
	- 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
- 3 - (1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
	- 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	b
	- 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	b
- 3 - (2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	- 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

- 4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
- 4 - (1) 利用者のアセスメントが行われている。		
	- 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
	- 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	b
- 4 - (2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	- 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。	b
	- 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b

A - 1 利用者の尊重

		第三者評価結果
1 - (1) 利用者の尊重		
A-1-(1)-	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	b
A-1-(1)-	利用者の主体的な活動を尊重している。	b
A-1-(1)-	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	b
A-1-(1)-	利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	b

A - 2 日常生活支援

		第三者評価結果
2 - (1) 食事		
A-2-(1)-	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	b
A-2-(1)-	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	b
A-2-(1)-	喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	b
2 - (2) 入浴		
A-2-(2)-	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	a
A-2-(2)-	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	b
A-2-(2)-	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	c
2 - (3) 排泄		
A-2-(3)-	排泄介助は快適に行われている。	a
A-2-(3)-	トイレは清潔で快適である。	c

		第三者評価結果
2 - (4) 衣服		
	A-2-(4)- 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	b
	A-2-(4)- 衣服の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	b
2 - (5) 理容・美容		
	A-2-(5)- 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	b
	A-2-(5)- 理髪店や美容院の利用について配慮している。	a
2 - (6) 睡眠		
	A-1-(6)- 安眠できるように配慮している。	c
2 - (7) 健康管理		
	A-2-(7)- 日常の健康管理は適切である。	a
	A-2-(7)- 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	a
	A-2-(7)- 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	a
2 - (8) 余暇・レクリエーション		
	A-2-(8)- 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	b
2 - (9) 外出・外泊		
	A-2-(9)- 外出は利用者の希望に応じて行われている。	b
	A-2-(9)- 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	a
2 - (1 0) 所持金・預かり金の管理等		
	A-2-(10)- 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	a
	A-2-(10)- 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	a
	A-2-(10)- 嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	